

広報

はつらつ 長瀬



ながとろ

Public Relations Nagatoro

6

No.686



赤痢退散奉額

武野上神社（本野上）の社務所にある奉額で、明治30年の夏に赤痢が流行したが、その全快を祝って氏子が奉納した額。

左下にある中町とは、現在の中宿地区（本野上）のこと。左上には赤痢の化身が、白旗を掲げて退散している。

新型コロナウイルスを撃退！

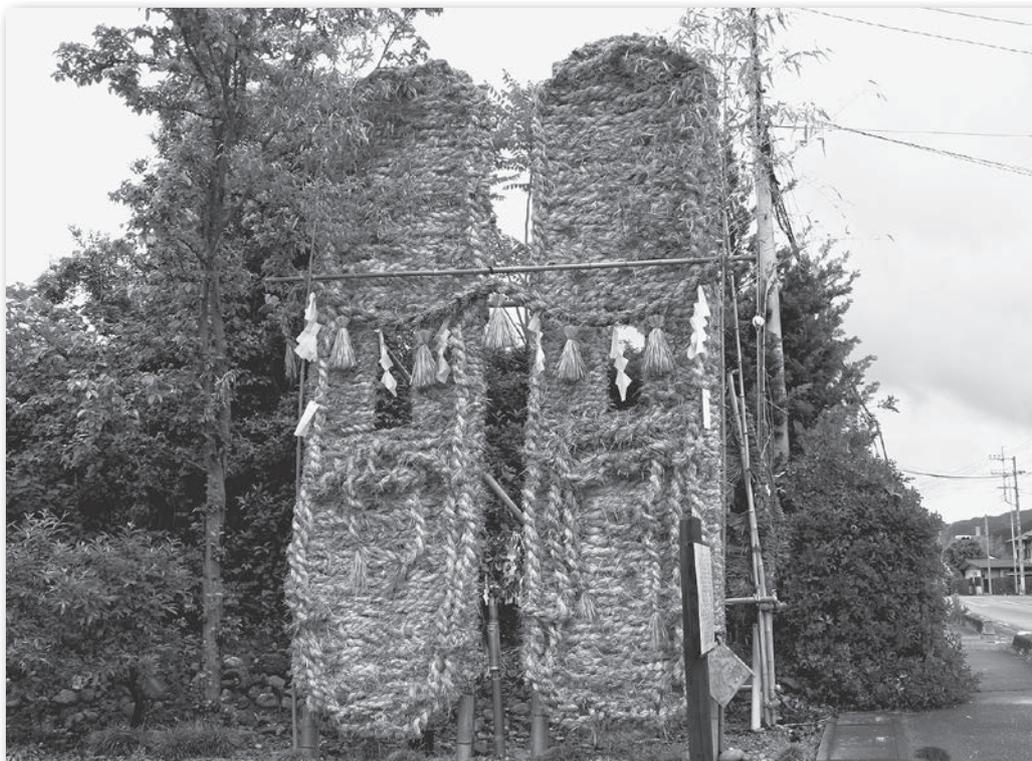
疫病の全快と疫病よけに関する町の伝承・文化財をご紹介します。

大ワラジ

疫病神が地区に入って来ようとするときに、ワラジの真ん中の穴から中をのぞき、こんなでかいワラジをはく大きな男が住んでいるのかと驚いて退散するという言い伝えの厄除け行事。

上長瀬区の大わらじ保存会の皆さんが手作りで、大ワラジのほか、長い竹の先に御幣をつけたボンデン（梵天）と縄を作成する。

オショウジンと大ワラジとして、長瀬町指定民俗文化財に指定されている。



令和2年6月1日発行

発行・編集／長瀬町役場 〒369-1392 埼玉県秩父郡長瀬町大字本野上1035-1

<http://www.town.nagatoro.saitama.jp> ☎0494-66-3111(代)